

実践 コミュニケーション講座

生き方が変わるコミュニケーション術
エニアグラムで自分と他人を理解する

エニアグラムとは

古代ギリシャ哲学にルーツ
イスラム2000年の
リーダー養成のための秘伝

スタンフォード大学の科学的検証
10万人の実証調査

20年前の大ブーム 心の時代の今 短期習得の実践研修で復活

1980年代後半、鈴木秀子先生が日本で紹介
NHK・TVで紹介
「9つの性格」は88万部のベストセラー

人間関係

- 1 (人生の90%は人間関係)
人様々と言うけれど、悩まされるごたごた、
親子、夫婦、ご近所 上司、部下、同僚 お客さん、取引先
- 2 (人それぞれの違いを知る)
まず自分を知る、9つのタイプのどれだ！
周りの人がわかってくる
- 3 (争い・いがみ合い・競争をやめて、事実を見る)
ありのままの自分を受け入れ、
他人の癖も認める
- 4 (エニアグラムの知恵でともに成長する)
それがわかれば、何とかやっつけている
落ち着いて話を聴く
相手のタイプが受け入れられるように話す。

ジョハリの窓

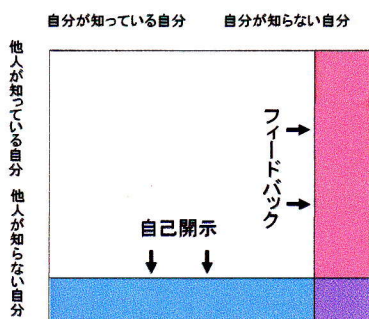
Joseph Luft Harry Ingam

	自分が知っている自分	自分が知らない自分
他人が知っている自分	開放	盲点
他人が知らない自分	隠している 隠れている	未知

ジョハリの窓

	自分が知っている自分	自分が知らない自分
他人が知っている自分		
他人が知らない自分		

ジョハリの窓



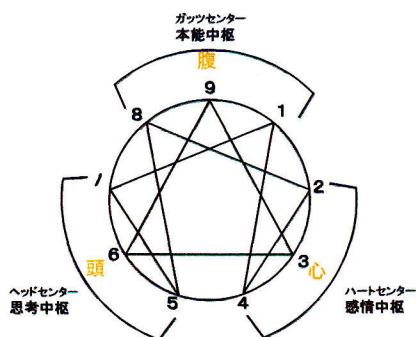
どう役に立つか

皆それぞれ良いとこ悪いとこ持っているのだという安心感

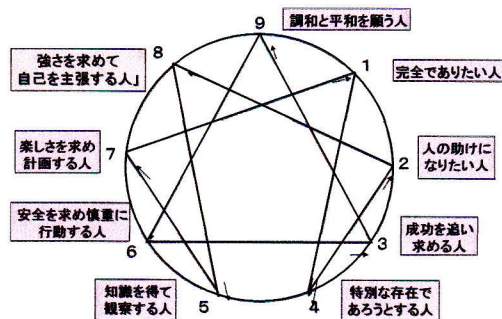
悪いとこと言っても裏返せばよいところ
実は、囚われがちなのが前進のエネルギー

皆の良いところを集めて最強チーム
各タイプの見方を合わせて偏りをなくす

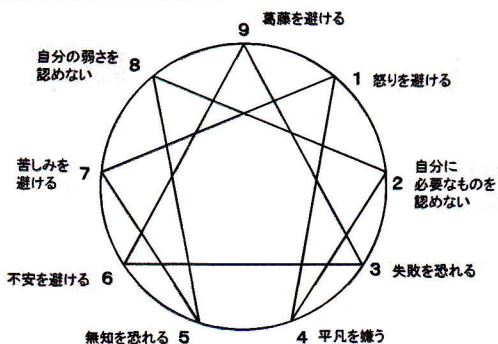
エニアグラムの3センター



タイプごとのエネルギーの源



エニアグラムの囚われ



エニアグラム：自分を不自由にして「囚われ」

- 囚われは、その人を動かす原動力
- 反面、自分では一番認めたくない弱さ
- 自分の弱さを客観的に受け止めることができれば、無意識下に抑圧している感情(未処理の問題)を解放していくことができる
- 自分の弱さを認めたくないで、相手に投影していたことに気づく
- エニアのワークショップでは、過去の傷ついた体験を、互に信頼できる集団の中で、安全にゆるやかに自己開示していくことができる

一番の効果は

人間関係の革新

人と人とのつながり

信頼関係の輪を広げる

ネットワーク作り

実例

- 1 私の息子との関係
- 2 結婚する相手は、学ぶためのタイプ
- 3 社長の好みのタイプに偏った会社
- 4 強みを生かして強カタグチーム

私はなぜエニアグラムを学んだか

だめな部下をうまく操作できるぞ

とんでもない、自分がどういう人間か、白日の下に

部下の強みがわかって、生かせるようになる

皆の信頼が高まって、業績アップ